

「市民共同発電所」をみんなの手で

「市民共同発電所」とは、風力・太陽光など二酸化炭素(CO₂)をほとんど出さない「自然エネルギー発電所」を、市民が費用を分担して地域に設置する取り組みです。これまで全国各地で、市民グループの手により自然エネルギー発電所が100ヶ所以上も生まれています。



「おひさま発電所」の完成を祝う点灯式です。おひさまの電気で見事に点灯！
(伏見区・向島保育園)



子どもたちに発電量を知らせるオリジナルの表示盤
(伏見区・向島保育園)



太陽光パネルで発電した電気で、電車が動いています。
(伏見区・つくし保育園)

京都でひろがる「おひさま発電所」～NPO法人きょうとグリーンファンド

京都では、「NPO法人きょうとグリーンファンド」が、自然エネルギーを広める活動を続けています。「節電・省エネ」と「自然エネルギーの普及」を目標に、市民や団体が節電・省エネした一部を寄付し、「おひさま基金」として積み立てています。この基金は、地域の公共施設（たとえば幼稚園・保育園・共同作業所など）に、太陽光発電設備を設置したり、地域で環境学習をする費用に使われます。これまで「おひさま発電所」を14ヶ所（2010年1月現在）設置してきました。

「おひさま発電所」となった施設では、発電した電気料金に相当するお金の一部を「おひさま基金」に寄付しています。このようにして京都に「おひさま発電所」が増え、自然エネルギー普及が進んでいます。



■NPO法人きょうとグリーンファンド

〒600-8104 京都市下京区五条通高倉西入る万寿寺町143いづつビル6F TEL/FAX. 075-352-9150 (火～金:午後1時～5時)

ホームページ: <http://www.kyoto-gf.org/> メールアドレス: info@kyoto-gf.org

京都では市役所をはじめ、さまざまな市民団体や企業が地球温暖化防止に向け、いろいろな取り組みを進めています。みなさんも、学校や家庭でできる活動を考えてみましょう！

市民で進める地球温暖化防止